

# 「交流サロン」だより in大仙 12月号 2023

酷暑に極寒、さらに世情の混乱で今年も暮れようとしています。皆さんはどんな一年でしたか？私は、この三年間、「コロナ禍で中座していた」「語りべ（命を守る）」の活動がこの年末近くになつてようやく叶ったということがなよりの喜びでした。県都を襲った大洪水それまで身近に感じなかった大規模災害が身近に起き、他人事が自分事として思えるようになったことも、願いが叶った一因だと感じています。大震災で被災されて秋田県内で生活している方々に伺うと、比較的平穏な秋田は、大災害に対する危機感が希薄だと言う意見があり、それが活動のキッカケとなりました。未曾有の体験を後世に生かしていただくことを願っております。さて今年も被災者や支援者のご理解とご協力をいただき「交流サロン in 大仙」を運営することができましたことに對しまして感謝すると共に御礼を申し上げます。この夏に急激なコロナによる感染者の拡大により休まざるを得なかったことなどありましたが、参加者に感染者もなく運営することが出来ました。これからも状況に應じた開催に心がけます。良いお年!!

令和5年12月25日 AM 11:48頃

## マイワット「あと、40分」



毎年今頃の時期の暗いうちにパスタグラフの「スパーク」を撮っているのですが、余りの寒さと荒天のために実現出来ないでいます。そんな中、わずかにのぞいた青空、この時とばかりに飛び出し撮れたのがこの一枚です。雪原の中、一本の赤い矢のようにつき進む「こまち」東京からの列車が通過して行きました。間もなく大曲そして終点の秋田、三時間の長旅を楽しんでもらえたのだろうか、冬休みも始まり子供達が乗っているのかな、などと思いつつ見送りました。

## マイワット「一言」

## 1月の交流サロン

1月28日(日)

「被災地の郷土料理」  
せめて一年に一度でもい  
いから、被災地を振り返  
つてみましょう!!と言う企  
画です。

昼食代三〇〇円  
小学以下無料



## 今日の交流サロンから!!

恒例となりました大曲駅連絡通路の作品展示、今年も厳しい寒さの中での作業となりました。17日当日の最低気温マイナス13℃、協力してくれた皆さん、一時



大曲駅連絡通路展示の全景

間半程で耐えられなくなり完成まであと一歩と言ったところで終了せざるを得ませんでした。後日追加と手直しして出来上がったのが上の一枚です。寒い中のご協力ありがとうございました。さて今月のサロンの日は、クリスマスイブに当たりサントさんの準備に追われているせいか参加者も少なかったのですが楽しい一日となりました。

【本日の昼食のメニュー】

寒さを乗り切るために熱々のうどんにしました。干しシイタケとひき肉の餡かけうどん・焼き大根のオカカかけ・せりのサツと炒め・キャベツと胡瓜の一夜漬けそれに柿が添えられました。昆布とカツオの効いたたつゆに熱々の餡をかけ、心も体も温まるほっとする味に満足して頂きました。



本日、メインのソース



「熱々の餡かけうどん」

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇一九六七〇二八五二